

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】令和6年9月17日(2024.9.17)

【公開番号】特開2023-39447(P2023-39447A)
【公開日】令和5年3月20日(2023.3.20)
【年通号数】公開公報(特許)2023-052
【出願番号】特願2022-160738(P2022-160738)
【国際特許分類】

G 0 6 F 2 1 / 6 2 (2 0 1 3 . 0 1)

G 0 6 F 2 1 / 3 2 (2 0 1 3 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 F 2 1 / 6 2 3 4 5

G 0 6 F 2 1 / 3 2

【手続補正書】

【提出日】令和6年9月6日(2024.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータを、属性検出手段と、演算手段と、出力手段と、送信手段と、認証手段と、履歴データ保存手段として機能させるプログラムであって、
前記認証手段は、認証端末により撮像された顔画像に基づいてユーザの認証を行い、
前記履歴データ保存手段は、前記認証手段によりユーザの認証が行われたときに少なくとも前記属性検出手段により検出された属性を利用履歴データとして顔認証利用履歴データストアに記憶させ、

前記演算手段は、前記属性検出手段により検出された属性、ユーザ毎の利用中サービス情報および前記顔認証利用履歴データストアに保存されている利用履歴データに基づいてユーザ有用情報を演算し、

前記出力手段は、前記演算手段により演算されたユーザ有用情報を出力し、
前記送信手段は、前記出力手段により出力されたユーザ有用情報を前記認証手段により認証されたユーザのユーザ端末に送信する、プログラム。

【請求項2】

コンピュータを、更に学習済モデル生成手段として機能させ、

前記学習済モデル生成手段は、前記属性検出手段により検出された属性、ユーザ毎の利用中サービス情報および利用履歴データを含む教師データを用い、前記属性検出手段により検出された属性および前記認証端末による顔画像の撮像に関する認証関連情報を入力、ユーザ有用情報を出力とする学習済モデルを深層学習により生成し、

前記演算手段は、前記学習済モデル生成手段により生成された前記学習済モデルに基づいて、前記認証端末により撮像された顔画像から前記属性検出手段により検出された属性および当該認証端末による顔画像の撮像に関する認証関連情報を入力したときのユーザ有用情報に関する演算を行う、請求項1記載のプログラム。

【請求項3】

認証端末により撮像された顔画像に基づいてユーザの認証を行う認証手段と、
前記認証手段によりユーザの認証が行われたときに少なくとも属性検出手段により検出された属性を利用履歴データとして顔認証利用履歴データストアに記憶させる履歴データ保

10

20

30

40

50

存手段と、

前記属性検出手段により検出された属性、ユーザ毎の利用中サービス情報および前記顔認証利用履歴データストアに保存されている利用履歴データに基づいてユーザ有用情報を演算する演算手段と、

前記演算手段により演算されたユーザ有用情報を出力する出力手段と、
前記出力手段により出力されたユーザ有用情報を前記認証手段により認証されたユーザのユーザ端末に送信する送信手段と、

を備えた、システム。

【請求項4】

コンピュータにより行われる情報処理方法であって、
認証端末により撮像された顔画像に基づいてユーザの認証を認証手段により行う工程と、
前記認証手段によりユーザの認証が行われたときに少なくとも属性検出手段により検出された属性を利用履歴データとして顔認証利用履歴データストアに記憶させる工程と、
検出された属性、ユーザ毎の利用中サービス情報および前記顔認証利用履歴データストアに保存されている利用履歴データに基づいてユーザ有用情報を演算する工程と、
演算されたユーザ有用情報を出力する工程と、
出力されたユーザ有用情報を前記認証手段により認証されたユーザのユーザ端末に送信する工程と、

を備えた、情報処理方法。

10

20

30

40

50